

■ 概要

○被災箇所に係る復旧整備状況

・平成29年度末まで

国有林治山事業：溪間工55基、山腹工33箇所、
地すべり防止工7箇所

民有林直轄治山事業：溪間工69基、山腹工70箇所

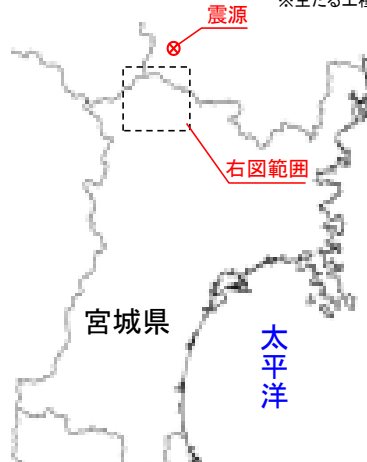
林道災害復旧事業：10路線

・平成30年度計画

国有林治山事業：溪間工 0.5基、山腹工1箇所

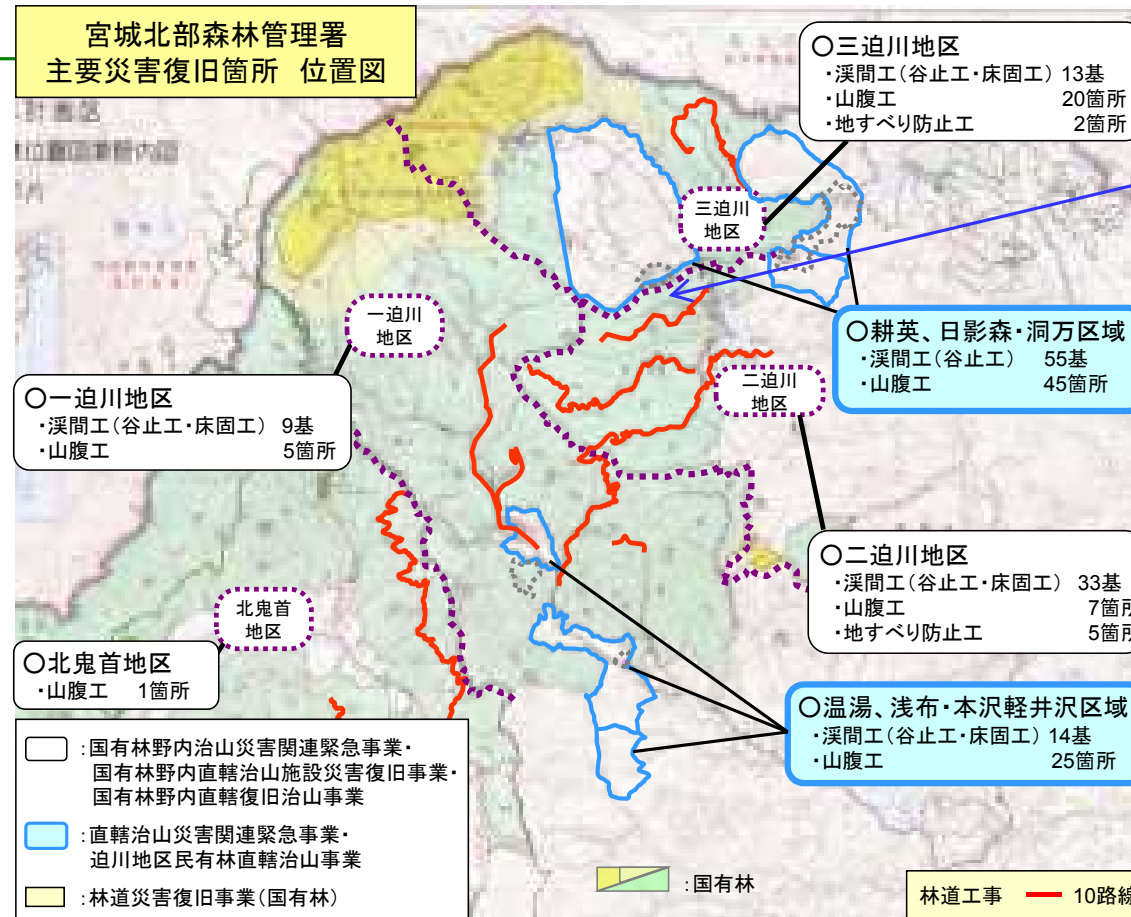
民有林直轄治山事業：溪間工 1基、山腹工2箇所

※主たる工種を記載

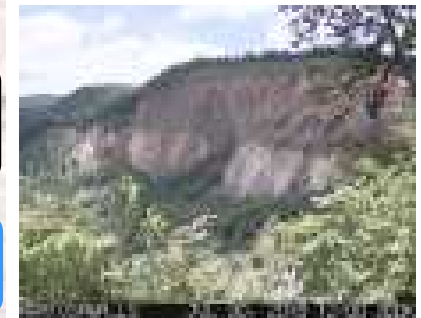


平成20年 岩手・宮城内陸地震の記録
2008年6月14日 午前8時43分頃発生
地震の規模 M7.2
最大震度 6強(宮城県栗原市、岩手県奥州市)
震源地 岩手県内陸南部
震源の深さ 約8km
山腹崩壊箇所 1,062箇所(宮城県内、H20東北森林管理局調べ)

宮城北部森林管理署 主要災害復旧箇所 位置図



荒砥沢地すべりに監視カメラを設置しています。
東北森林管理局ホームページのトップページ左
にある「岩手・宮城内陸地震荒砥沢監視カメラ」
のパナーをクリックすると見ることができます。
(<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/index.html>)



平成30年7月30日撮影

岩手・宮城内陸地震発生から10年（その2）

7月6～7日の両日、日本地すべり学会主催の平成20年岩手・宮城内陸地震10年メモリアル国際シンポジウムが開催されました。7日は深山岳国有林内の荒砥沢地すべり地での巡検を行い、発生メカニズム、地質、当署で実行した治山工事の効果、防災教育など様々な視点から巡検を行いました。



平成21年時 地すべり学会
荒砥沢地すべり地内調査の様子



巡検：地すべり末端部、露頭の前にて記念撮影

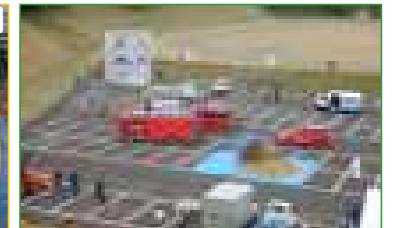
平成30年度 栗原市総合防災訓練 (宮城北部森林管理署展示コーナーの様子)

6月17日(日)平成30年度栗原市総合防災訓練が実施されました。岩手・宮城内陸地震発生から今年で10年経ちました、当署ではこの10年間に取組んだ工事の様子などをパネル展示しました。来客者の方々には、発生当時と現在の写真を比較してもらい、緑の山林に復旧していく治山事業の効果を理解していただきました。



左下：栗原市のマスコットキャラクター“ねじりほんによ”
2018ゆるキャラグランプリに参加しています！
右下：土砂災害救出訓練など訓練会場の様子

ねじりほんによ



平成30年度 工事施工箇所（復旧工事を進めています）

① 座居沢治山工事
〔山腹工を予定〕

調査設計業務が完了し、工事発注事務を進めています。（詳しくはホームページ「公共工事発注見通し」をご覧ください。）シートで水路への土砂流出防止措置をしています。



平成30年7月撮影



平成30年7月撮影

② 湯ノ倉上流治山工事
〔溪間工（鋼製柵谷止工）〕

鋼製柵谷止工を組立中です。7月の豪雨により土砂・巨石が崩落し、鋼製柵の一部に被害がありました。今後の大雨やゲリラ豪雨が懸念されます。写真○枠内 落石による鋼製柵損傷箇所



平成29年6月撮影



平成30年7月撮影

③ 耕英御沢（H29）治山工事
〔溪間工（コンクリート谷止工）〕

コンクリート打設をしています。沢水を切り替える際には、ブルーシートで水路を作り沢水が汚れないよう対策を施しています。



平成29年6月撮影



平成30年7月撮影

④ 洞万西沼ヶ森（H30）治山工事
〔山腹工（簡易吹付法砕工ほか）〕
準備工中です。

平成30年7月撮影



※荒砥沢地すべり地※ 猛暑の影響で？！

この夏の暑さで、荒砥沢地すべり地内の湛水池の水位が低くなり、浸食された石柱？が現れました。数千年後、中国の武陵源のように世界的名所になる可能性も・・・？

